



2025年3月期 第2四半期決算説明会

2024年11月25日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

(証券コード：6298 東証プライム)

<https://www.yac.co.jp>

▲ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼン資料で述べる将来の当社に関する見通しは、現時点での情報を元に作成したものです。

当社グループのお客様である半導体等の業界は技術革新のスピードが速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、各業界市況、設備投資の動向は、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

内容概要

- | | | |
|-------------------------|-----------|-------|
| 1. ご挨拶 | HD代表取締役社長 | 百瀬 武文 |
| 2. 2025年3月期第二四半期決算総括と概要 | HD取締役常務 | 畠山 督 |
| -①半導体・メカトロニクス関連事業 | HD取締役副社長 | 伊藤 利彦 |
| -②医療・ヘルスケア関連事業 | HD代表取締役社長 | 百瀬 武文 |
| -③環境・社会インフラ関連事業 | HD取締役専務 | 大倉 章裕 |
| 3. ワイエイシグループの今後の展望 | HD代表取締役社長 | 百瀬 武文 |
| -①半導体・メカトロニクス関連事業 | HD取締役副社長 | 伊藤 利彦 |
| -②医療・ヘルスケア関連事業 | HD代表取締役社長 | 百瀬 武文 |
| -③環境・社会インフラ関連事業 | HD取締役専務 | 大倉 章裕 |
| 4. Q&A | | |



1. ご挨拶

ワイエイシーホールディングス株式会社

代表取締役社長 百瀬 武文



2. 2025年3月期第2四半期決算総括と概要

ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役常務執行役員 畠山 督

1.全体総括について

➤ 損益状況

トップラインは微減に止まるものの、前年同期の増益要因剥落、反動落ちにより、ボトムラインに至るにつれ減益幅が拡大。

➤ 財政状況 売上債権の回収等により自己資本比率は、40%台に回復

2.各段階利益について

➤ 粗利益

減収及び粗利率低下の両要因が相俟って前年同期比微減(▲91M:3,098M)

➤ 営業利益

粗利率の減少に加え経費増も加わり減益に(▲108M:601M)

➤ 経常利益

中国顧客の倒産に加え、為替差損益がネットベースで「為替差益から為替差損」へ転じた事、等により前年同期比6割減と減益幅は拡大(▲546,314M)

EX:貸倒：+86M 為替差損益 (+119M⇒▲100)

➤ 中間純利益

経常利益の悪化に加え、特別損益段階での「M&Aに伴う負の暖簾剥落」も加わった結果、中間純利益は著減を余儀なくされる(▲676M, 23M)

尚、24年9月期中間配当については、当初予想金額である一株「@35円/株」を決定済み【12/6支払予定】

3. 第二四半期決算における主要トピックスについて

- I. 当社の中長期事業戦略を踏まえ「事業ポートフォリオの見直し」を実施し、従来の4セグメントから「半導体」・「医療」・「社会インフラ」の3セグメントに再編集約
- II. 米国ライナスバイオ・テクノロジー社に対し前期に引続き追加出資5M\$を実施し、外部株主としては筆頭株主としての順位を確保
- III. 戦略的業務提携の更なる拡大を企図して同社と共同で「合併会社：JV（日本人）」を設立、出資比率については「当方：51% VS 先方：49%」
- IV. 更なる流動性を確保すべく、25年1月1日を効力発生日とする株式分割（1：2）を予定。尚、期末配当予想も従来の@40円/株から分割により@20円/株へと変更（実質的に同水準をキープ）

4. 受注状況について

- 24年9月期受注残高は、同年3月期末残高比で微減(17,570M⇒16,747M)

尚、前年同期比では3セグメント何れも受注減となる事から、現状は下期に向けて受注残高積上げに注力

5.通期業績予想・同配当予想について

I 通期業績予想

足元の進捗状況を踏まえ「通期業績予想の下方修正」を実施
各段階利益の減少は「減収に伴う粗利益減」が主たる要因

II 通期配当予想について

中間配当：@35円にて決議済み

期末配当：@20円を据え置き（株式分割前：@40円で実質変更なし）

総括：減収減益決算（前期寄与の増益要因の反動落ちが全体収益を押し下げ）

粗利減（▲91M）＝減収要因（▲59M）＋利鞘率悪化要因（▲32M）

（単位：百万円）

	2022/9期 実績	2023/9期 実績①	2024/9期 実績②	増減金額 ②－①	増減率 同左	通期業績 予想/進捗
売上高	10,976	11,506	11,291	▲214	▲1.9%	(35%)/320
粗利	2,671	3,189	3,098	▲91	▲2.9%	
（同率）	(24.%)	(27.7%)	(27.4%)	—		
営業利益	473	710	601	▲108	▲15.3%	(19%)/32
（同率）	(4.3%)	(6.2%)	(5.3%)	—		
経常利益	577	861	314	▲546	▲63.7%	
税後利益	325	700	23	▲676	▲96.6%	(1%)/20

【ご参考：過去6年間の連結収支状況推移について】

(単位：百万円)

	2019/9期	2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期
売上	11,952	12,230	11,075	10,976	11,506	11,291
粗利	1,824	2,440	2,909	2,671	3,189	3,098
(同率)	(15.3%)	(20.0%)	(26.3%)	(24.3%)	(27.7%)	(27.4%)
営業利益	▲533	311	716	473	710	601
(同率)	(▲4.6%)	(2.5%)	(6.5%)	(4.3%)	(6.2%)	(5.3%)
経常利益	▲622	307	730	577	861	314
(同率)	(▲5.2%)	(2.5%)	(6.6%)	(5.3%)	(7.5%)	(2.8%)
当期利益	▲710	273	524	325	700	23
(同率)	(▲5.9%)	(2.2%)	(4.6%)	(3.0%)	(6.1%)	(0.2%)

◎「医療ヘルスケア」及び「環境社会インフラ」の減収減益が全体収支を下押し

報告セグメント							(単位：百万円)
	半導体 メカトロ	医療 ヘルスケア	環境社会 インフラ	小計	調整	合計	
23/9売上	4,935	2,876	3,694	11,506	—	11,506	
23/9営利	284	285	377	946	▲236	710	
24/9売上	5,473	2,644	3,172	11,291	—	11,291	
24/9営利	501	225	15	743	▲141	601	
売上増減	+537	▲231	▲521	▲214			
利益増減	+217	▲59	▲361	▲203			

◎顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(2023年4月1日～2023年9月30日)

(2024年4月1日～2024年9月30日)

23/9期 報告セグメント

24/9期 報告セグメント

(単位：百万円)

	半導体 メカトロ	医療 ヘルスケア	環境社会 インフラ	半導体 メカトロ	医療 ヘルスケア	環境社会 インフラ	合計増減 金額
日本	3,234	2,765	3,046	3,923	2,512	2,693	90
中国	301	—	463	213	—	358	▲193
アジア他	727	—	158	1,204	—	117	436
その他	672	110	26	132	125	3	▲549
合計	4935	2,876	3,694	5,473	2,644	3,172	▲215

総括：

売上債権の回収による資産サイドの圧縮に伴い「買掛金、長期借入金」等の負債を削減。

当該資金回収により総資産は3月末比 7.1%減少の407億円

前期に引続き成長投資として「ライナス社：優先株式 5 M \$」の取得により投資有価証券は6億円増加

(単位：百万円)

	2023/9期	2024/3期	2024/9期	増減
流動資産	31,592	33,013	29,352	▲3,660
固定資産	10,573	10,814	11,365	+551
総資産	42,165	43,827	40,718	▲3,108
流動負債	17,272	15,665	14,057	▲1,661
固定負債	8,375	11,171	9,930	▲1,204
純資産 計	16,517	16,989	16,730	▲259

◎総資産圧縮に伴い、自己資本比率は40%台を回復

	2022/3期	2022/9期	2023/3期	2023/9期	2024/3期	2024/9期
自己資本比率	41.3%	43.2%	41.1%	39.1%	38.7%	41.0%

- 9月末受注高：前年同期比で微増にとどまる（+119百万円）
- 9月末受注残：前年同期比で各セグメント何れも減少に転じる（▲7,579百万円）

（単位：百万円）

	2023/9期 実績①		2024/3期 実績		2024/9期 実績②		受注残高増 減②－①
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残	
半導体 メカトロ	4,952	7,529	8,963	5,461	5,112	5,100	▲2,429
医療 ヘルスケア	2,513	6,219	4,546	5,620	2,070	5,046	▲1,172
環境社会 インフラ	2,882	10,578	5,384	6,488	3,285	6,601	▲3,977
合計	10,348	24,327	18,895	17,570	10,468	16,747	▲7,579

- 営業C/Fは売上債権の回収に伴うキャッシュ・インにより大幅改善

営業C/F(+1,615M)=損益要因(+118M)+運転資金要因(+1,496M)

(単位：百万円)

	2022/9期 実績	2023/9期 実績①	2024/9期 実績②	増減額 ②-①
3月末現預金他①	6,552	6,552	7,558	
営業活動C/F	▲87	+882	+1,615	+733
投資活動C/F	▲1,893	▲2,178	▲881	+1,297
財務活動C/F	+1,095	+2,252	▲1,321	▲3,574
為替換算	62	49	7	▲42
9月末現預金他②	5,728	7,558	6,978	
期中増減②-①	▲823	+1,005	▲580	

(注) 24年3月期：+882 = 損益要因(+1,903M)+運転資金要因(▲1,021M)

●2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	32,000	3,200	3,000	2,000	217円63銭
今回修正予想 (B)	28,000	2,500	2,100	1,500	81円50銭
増減額 (B-A)	△4,000	△700	△900	△500	
増減率 (%)	△12.5	△21.9	△30.0	△25.0	
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	26,809	2,006	2,074	1,417	154円33銭

（注）当社は、本日（2024年11月14日）公表の「株式分割及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2025年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定です。

従って、今回修正予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が行われたものと仮定して記載しております。

なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益（今回修正予想）は、163円01銭であります。

<修正の理由>

1. 売上高につきましては、不調が続くメモリ・ロジック系半導体に加え、当初好調が期待されたパワー半導体関連における投資先送りや、次世代人工透析機投入時期の遅れにより売上が伸び悩み、前回発表予想を下回る見込みとなりました。
2. 営業利益につきましては、資材調達価格や加工費等の上昇圧力に対して引き続き製造原価圧縮に注力し相応の成果は見られるものの、減収の影響が大きく前回発表予想を下回る見込みです。
3. 経常利益につきましても、営業利益の減少の影響に加えて、為替差益の減少および為替差損の増加の影響が大きく、前回発表予想を下回る見込みです。
4. 親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益及び経常利益の減少の影響により、前回発表予想を下回る見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。従いまして、予測不可能な要素等により、今後の業績は現在予想している数値と異なる可能性があります。

※また、本修正に関わらず、上記「注」に記載の株式分割要因を除き、通期配当予想額についての実質的な修正は予定しておりません。

[株式分割前]

	一株当たり配当金			一株当たり利益	配当性向
	年間	中間	期末		
2024/3期	75円	35円	40円	154.31円	48.6%
2025/3期	※ 75円	※ 35円	※ 40円	※ 154.31円	※ 46.0%

※株式分割を考慮しない場合の係数

(分割後の1株当たり当期純利益 81.50円)



セグメント情報

2-① 半導体・メカトロニクス関連事業 決算概要

ワイエイシイホールディングス株式会社

取締役副社長

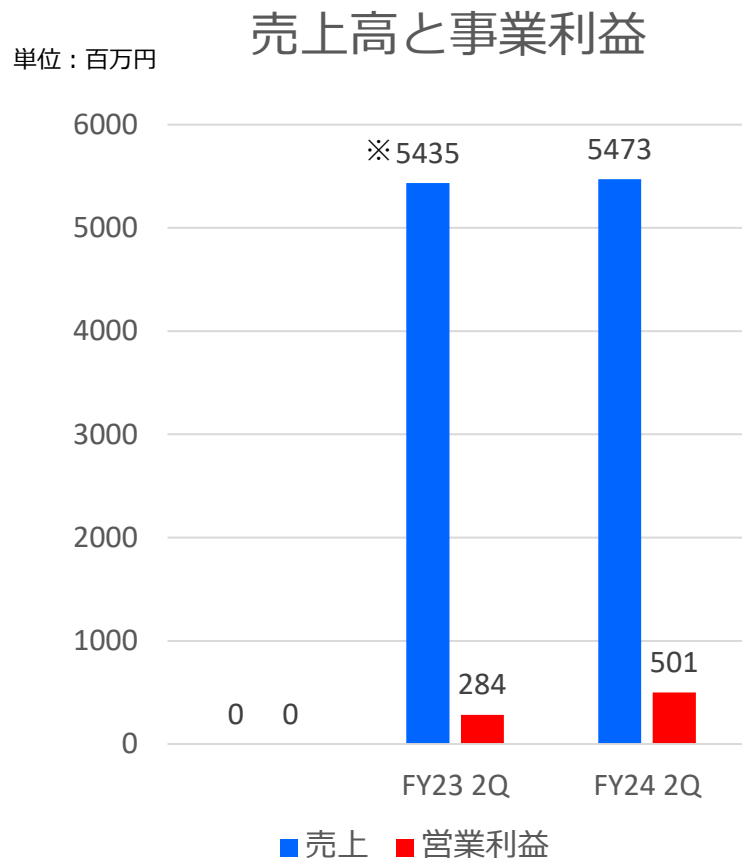
ワイエイシイメカトロニクス株式会社

代表取締役会長 伊藤利彦



半期分析

- ・ 前年同期比、微増収増益
- ・ HDD関連プロセス装置 7 台を売上げ
- ・ クリーンコンベア等自動搬送装置、レーザーアニール装置は、好調
- ・ 電子部品市場低迷が続いており、キャリアテープ、テーピング装置等、低迷
- ・ 9月末受注残 5 1 億



※医療ヘルスケアより半導体メカトロニクスへFY23/2Q
売上500Mの事業を移転分を反映しております。

トピックス

- ・ データセンター向け大容量HDD売上げが上向きに推移
- ・ パワー半導体SiC向け投資が数年後倒しの予測
- ・ 電子部品市場は復調の兆しあり



セグメント情報

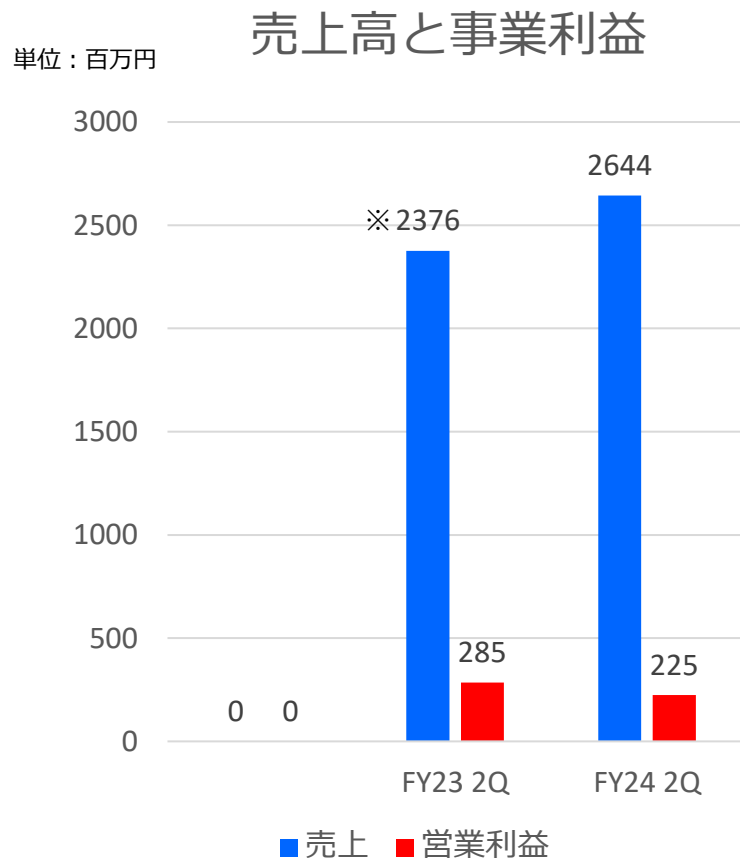
2-② 医療・ヘルス関連事業 決算概要

ワイエイシーホールディングス株式会社

代表取締役社長 百瀬 武文

半期分析

- 前年同期比 減収減益（微減）。
- 主な要因は、電子部品事業をグループ内の別セグメント（半導体・メカトロニクス）に譲渡したことによるもの。
- 前年同期の電子部品事業の売上高は500百万円であり、これを考慮すると前年同期比増収となる。



※医療ヘルスケアより半導体メカトロニクスへFY23/2Q
売上500Mの事業を移転分を反映しております。

トピックス

- 新型人工透析装置の上市に向け、着々と準備進行中。
- 疾病診断事業では、歯の指定した位置を正確に削る装置を開発し、売上計上した。この装置は、ライナス社の要求を十分満足しており、大変喜ばれた。



セグメント情報

2-③ 環境・社会インフラ関連事業 決算概要

ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役専務執行役員

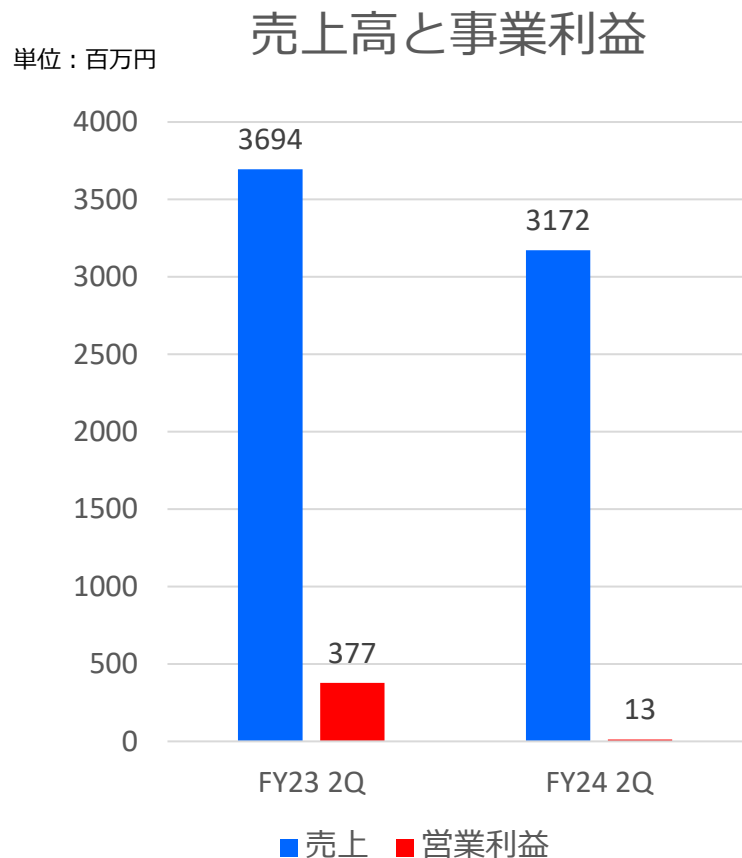
大倉電気株式会社

代表取締役

大倉 章裕

半期分析

- ・ 前年同期比、減収減益
- ・ FPD市場回復の遅れ
- ・ 部品の入手難による前倒し発注の結果、計測器市場、電力市場の在庫調整
- ・ 包装機売上増



トピックス

- ・ TVの高性能/省エネ化に伴う引合いが増
- ・ 脱炭素化に向けた電気ヒーター需要増
- ・ カーボンニュートラルをテーマにした紙自動包装機の需要はEC会社、アパレル会社等、需要は旺盛。EC大手と商談中
- ・ 電力市場において再生エネルギー関連の蓄電池充電制御装置などの開発



3. ワイエイシイグループの今後の展望

ワイエイシイホールディングス株式会社

代表取締役社長 百瀬 武文

**【創業理念】**
(1973年)**継続発展**

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

【成長理念】
(1985年)**社会貢献**

1. 社員の豊かさを追求する（経済的・精神的）
2. 国・地方自治体に、より多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

【究極の理念】
(2020年)**SDGs**

～より多く社会に貢献するために～

1. 社員・グループの成長
2. 全員経営・連携と競争
3. SDGs経営の推進
4. 納税額の拡大



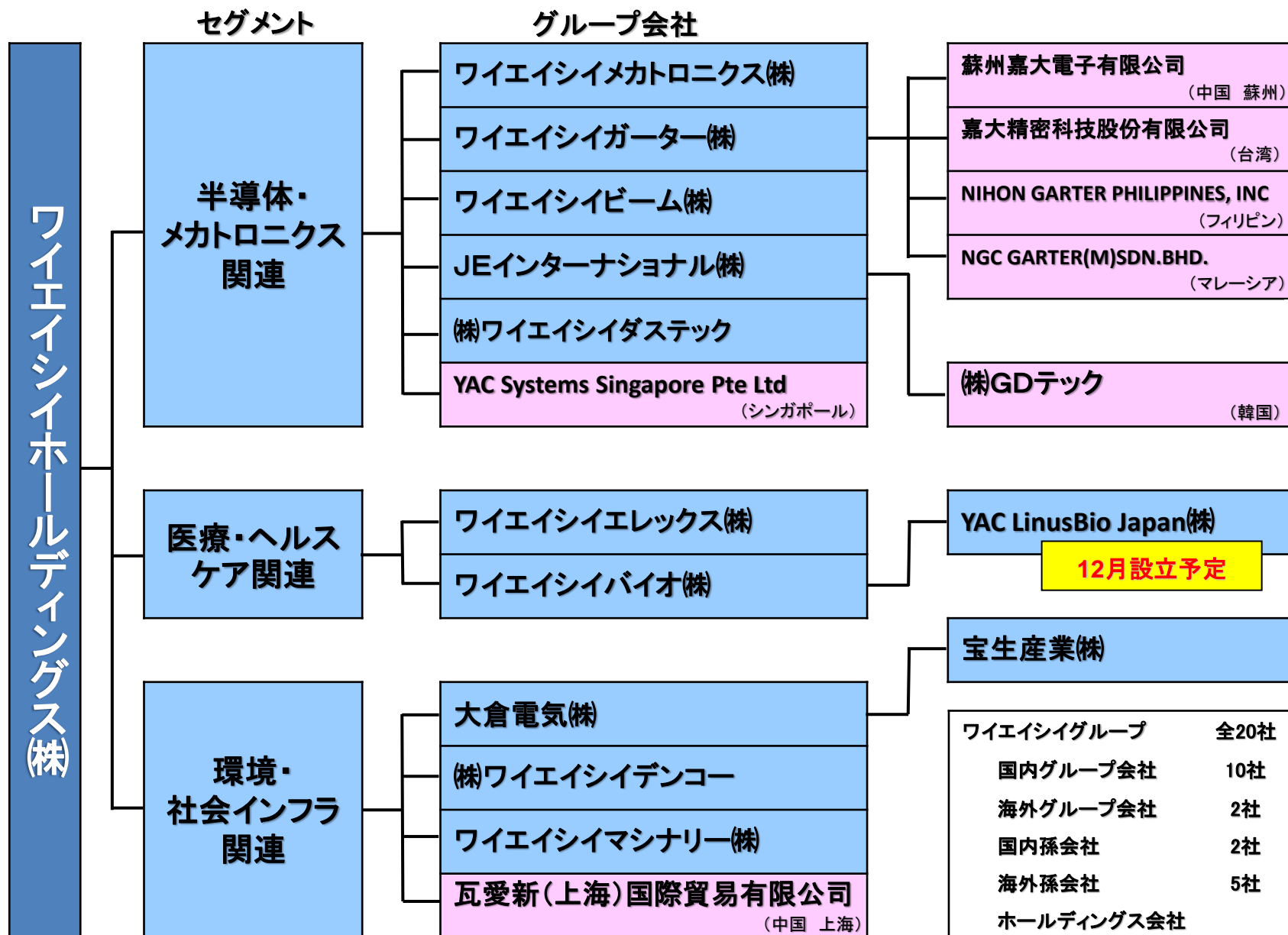
1. 基本的条件 あるべき姿

①継続し発展する ……	部下・家族・自分・社会・国家のため
②赤字は社会悪 ……	経営者として最も恥ずかしいことである
③社会貢献 ……	常に成長し、かつ利益を通じて
④SDGs ……	持続可能な社会へ、バイオ社、デンコー社、マシナリー社等で全力取組中
⑤プライム市場 …… (株主は投資家中心)	成長あるのみ。宿命である。使命である。成長実現は、すべてがハッピー。
⑥1,000億円企業の仲間入り… (量産新製品 1テーマで売上規模100億円以上)	現在8テーマを進行中。更に増やすべく、新たな候補大募集中。

2. 当社グループの文化は

成長へ、そして更なる成長へと、困難な事態にも決してあきらめず、全員経営の理念のもと、明るく元気よく、ポジティブな挑戦を続け、成長への喜びを感じながら、より多く社会貢献を目指す企業集団である。

2. ワイエイシイグループの構成



1. 成長への基本戦略

(1) 成長への分野別比率

①既存分野による成長	5%以上 (2030年までに+50億円以上)
②量産新製品の完成による成長 (大量量産新製品の誕生)	60%以上 (2030年までに+450億円以上)
③M&A、アライアンスによる成長	30%以上 (2030年までに+250億円以上)

(2) すべての社員から定期的に量産ニーズの提案

(3) 100億以上の量産新製品が6テーマ以上存在している

2. 4大改革の推進

<h3>1. 営業改革</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ①顧客との直接商談時間20%以上(週7H、月32H以上) ②毎日事業部単位で営業会議を開催し、当日の結果報告と、翌日の訪問目的と戦略を確認 ③新製品の横展開を図る ④事業部単位の結束した営業活動、効率UP
<h3>2. 粗利率UP</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ①依命システムの完全実行(チームで推進) ②直接要員の稼働率UP(営業への叱咤激励) ③ミス防止(DR実施)
<h3>3. キャッシュフロー (経費・回収・在庫)</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ①経費：ムダの徹底排除 ②売掛金：回収スケジュールに則り推進 (最悪でも1年以内で回収) ③在庫：30%削減を目指す
<h3>4. 全員経営</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ①目標凌駕への職場の一体感 ②計画達成と、不足分発生の場合の戦略を全社員で作成 ③毎月10日前後に、前月の結果の総括と当月以降の改革内容を明確化して実行 ④職場内への計画の進捗状況の開示(個人別、テーマ別)



3. ワイエイシイグループで100億円越えへの挑戦

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ①人工透析装置 | エレックス |
| ②毛髪による疾病診断事業 | バイオ、新会社 |
| ③血液バイオマーカー診断事業 | バイオ |
| ④パワー半導体 | ビーム、メカトロニクス |
| (レーザアニーラ、SiCチップハンドラ等) | |
| ⑤SDGs | マシナリー |
| (紙・生分解によるEC物流向け包装機) | |
| ⑥キャリアテープ | ガーター |
| (プラスチック、紙) | |
| ⑦AOI(自動光学検査装置) | JEインターナショナル |
| ⑧近いうちに発表予定 | |

成長期待の医療業界への進出

(1) 今期、新たに「医療・ヘルスケアセグメント」を新設

(2) 期待の量産新製品

①人工透析装置

②毛髪による疾病診断事業

③血液による疾病診断事業



1. 毛髪による疾病診断事業（米国ライナス社との合併事業）

1. 新会社設立

YAC LinusBio Japan株式会社（12月設立予定）

出資比率 YACBIO社 51%：ライナス社49%

11月19日 新会社設立の基本合意調印式・記者会見を開催

2. 事業内容

世界初の毛髪による疾病解析サービスを提供する。

日本初として今年度内に社会実装開始を目指す。

自閉症の解析サービスから開始し、順次領域を広げる予定。

3. ビジネスモデル～検査事業・医療のゲームチェンジ

① 先進性／安全性

採血とは異なり非侵襲的であり安全／保管移動が容易／
タイムスタンプとして履歴の追跡が可能（データ）

② 社会コストの削減

早期発見による本人家族の精神的負荷の軽減、社会コスト
の大幅削減

④ 装置製造・消耗品提供は、米国を含む全世界分を ワイエイシイバイオ社が担当する

2. 血液による疾病解析装置事業(ワイエイシーバイオ社)

全自動超高感度免疫測定装置 NeuroDetect™

～医療を変えるゲームチェンジャーの登場～

性能: 競合他社の100倍の超高感度

- ① 貴重な血液サンプルの100倍有効活用が可能
- ② いままで検出できなかった成分が測定可能
- ③ 指先採血(1滴)で血液診断可能となり、在宅・僻地医療を促進

操作性: 簡単な操作性

- ① 洗練されたグラフィカルユーザーインターフェースを使用
- ② ヒューマンエラー防止機能を付加

使用例:

- ① A β 、tau、NfL等の認知症血液バイオマーカーの測定が可能
- ② 新しい生命現象の発見・病態解析・創薬に使用
認知症等の新薬開発に繋がる脳病態解析が大きく前進

価格: 廉価な戦略プライシングを提供





100周年(2073年)に向かって

売上規模 3兆円以上を目指す

1. 現在進行中の100億円以上のテーマの拡大

- | | |
|--------------|--------------|
| (1)人工透析 | (5)SDGs |
| (2)毛髪による疾病解析 | (6)キャリアテープ |
| (3)血液による疾病解析 | (7)AOI |
| (4)パワー半導体 | (8)近いうちに発表予定 |

2. ビジネスモデルの転換

- (1)少ロット品から、大量生産品への積極的展開
- (2)新製品の横展開
- (3)B to Bに加え、B to Cへの積極的展開

3. M&A、アライアンス(100億円以上の大規模)

4. 常に量産新製品のニーズの取り込みを重視



セグメント情報

3-① 半導体・メカトロニクス関連事業 中期計画見通し

ワイエイシイホールディングス株式会社

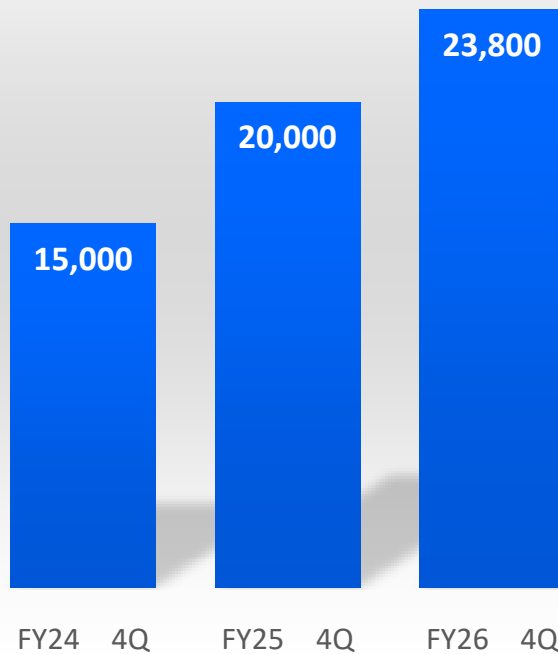
取締役副社長

ワイエイシイメカトロニクス株式会社

代表取締役会長 伊藤利彦

中期計画売上高

■売上高



中期計画に対して

- ・セグメント内各社間、顧客情報の共有、相互営業支援、技術情報の共有、応用、人員の相互融通等、効果が期待される。

今後の施策

- ・各社の各種相互効果を発揮
- ・集中購買、依命システム活用での原価低減による粗利率アップ
- ・キャリアテープ関連は、適地生産、効率的設備投資で生産性を上げる。
- ・レーザー関連装置は、アニール以外の用途を開拓
- ・クリーンコンベア関連は、PLP搬送等後工程自動化への展開も図る。
- ・SiCチップハンドラは、テスターメーカーと共同で国内外へ展開
- ・自動光学検査装置は、各種市場への展開を図る。



セグメント情報

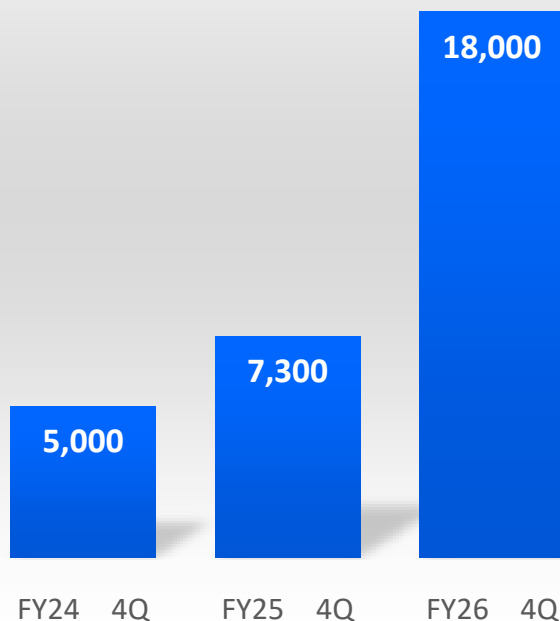
3-② 医療・ヘルス関連事業 中期計画見通し

ワイエイシーホールディングス株式会社

代表取締役社長 百瀬 武文

中期計画売上高

■ 売上高



中期計画に対して

- ・毛髪及び血液による疾病診断事業が2026年度から本格化し、セグメント売上を大きく押し上げると想定。
- ・人工透析装置も新型装置に置き換わり、世界的な需要の増加により、台数が徐々に増加する見込。

今後の施策

- ・疾病解析事業については、米国ライナスバイオ社との関係を強化しつつ、既に協力頂いている学術顧問の先生方を中心に人脈を広げ、当社解析サービスの優位性を広めるとともに社会的認知度の向上を図る。
- ・人口透析装置については、需要の増加に対応するための設備増強と、製造コストの圧縮に努める



セグメント情報

3-③ 環境・社会インフラ関連事業 中期計画見通し

ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役専務執行役員

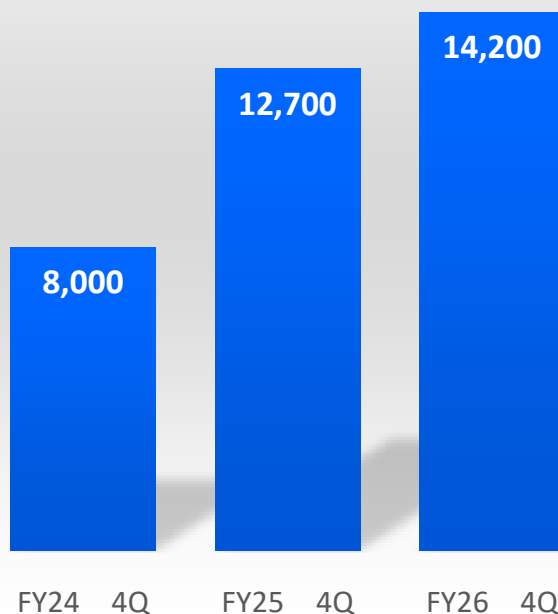
大倉電気株式会社

代表取締役

大倉 章裕

中期計画売上高

■売上高



中期計画に対して

- ・ 成長市場、分野に向けての製品開発、提供
- ・ 成長の見込めるFOPLP市場
- ・ EC、物流倉庫、アパレル、通販市場
- ・ 電力再生エネルギー市場
- ・ インフラ点検自動化

今後の施策

- ・ 今後拡大が期待できるEC市場への紙包装機圧縮機などの製品を提供
- ・ ITパネルのOLED化による設備需要増に向けた製品提供
- ・ 電力市場における再生エネルギー関連製品の提供
- ・ 人手不足の問題に対応した社会インフラを支える点検業務などの自動化への製品提供



ご参考資料

(単位:百万円)

	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	2025年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高	11,506	11,291	▲214	▲1.9%
営業利益 (営業利益率)	710 (6.2%)	601 (5.3%)	▲108	▲15.3%
経常利益	861	314	▲546	▲63.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	700	23	▲676	▲96.6%
1株当たり 四半期純利益(円)	76.30	2.58	▲73.72	▲96.6%

参考-2 関連事業別売上・利益



※前年同期の値は、2025年3月期からの新セグメントに合わせて修正しております

(単位：百万円)

		2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	2025年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	備考
半導体・ メカトロニクス 関連	売上	4,935	5,473	537	10.9%	パワー半導体向けレーザー アニール装置等が好調。 光学検査装置も復調傾向。
	利益	284	501	217	76.4%	
医療・ ヘルスケア 関連	売上	2,876	2,644	▲231	▲8.0%	電子部品事業を半導体セ グメントに移管したこと により微減
	利益	285	225	▲59	▲20.9%	
環境・社会 インフラ 関連	売上	3,694	3,172	▲521	▲14.1%	ドライエッチング装置並 びに工業計器の不振が響 く。
	利益	377	15	▲361	▲95.8%	
HDその他	利益	▲236	▲141	95	—	
合計	売上	11,506	11,291	▲214	▲1.9%	
	利益	710	601	▲108	▲15.3%	

参考-3 関連事業別受注額・受注残



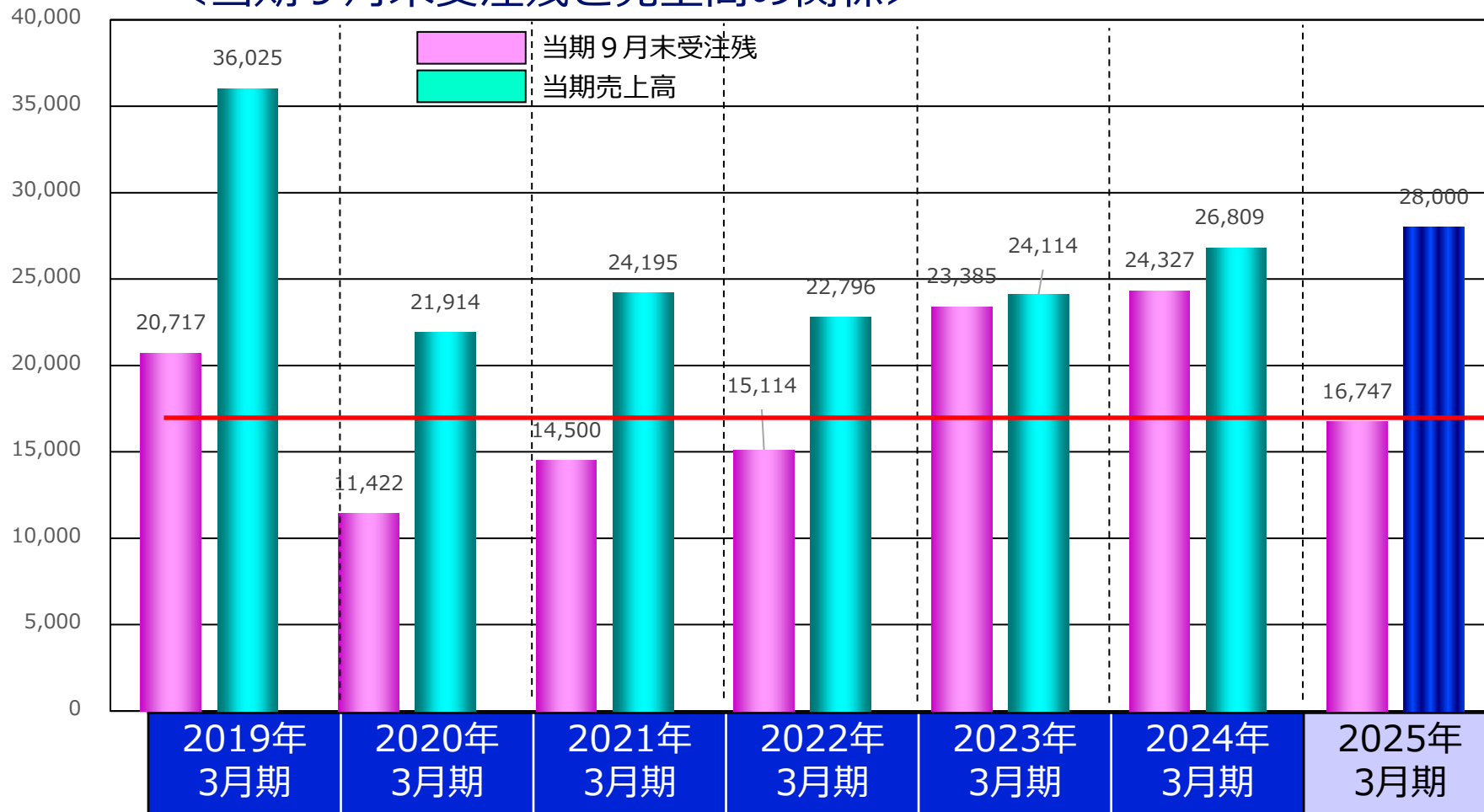
※前年同期の値は、2025年3月期からの新セグメントに合わせて修正しております

(単位：百万円)

		2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	2025年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
半導体・ メカトロニクス 関連	受注額	4,952	5,112	159	3.2%
	受注残	7,529	5,100	▲2,429	▲32.3%
医療・ ヘルスケア 関連	受注額	2,513	2,070	▲442	▲17.6%
	受注残	6,219	5,046	▲1,172	▲18.9%
環境・社会 インフラ関連	受注額	2,882	3,285	402	14.0%
	受注残	10,578	6,601	▲3,977	▲37.6%
合計	受注額	10,348	10,468	119	1.2%
	受注残	24,327	16,747	▲7,579	▲31.2%



(百万円) <当期9月末受注残と売上高の関係>



■ 当期9月末受注残に対して、当期売上高が何倍になったのかを示す倍率

1.74倍	1.92倍	1.67倍	1.51倍	1.03倍	1.10倍	1.67倍?
-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

<資産>

(単位：百万円)

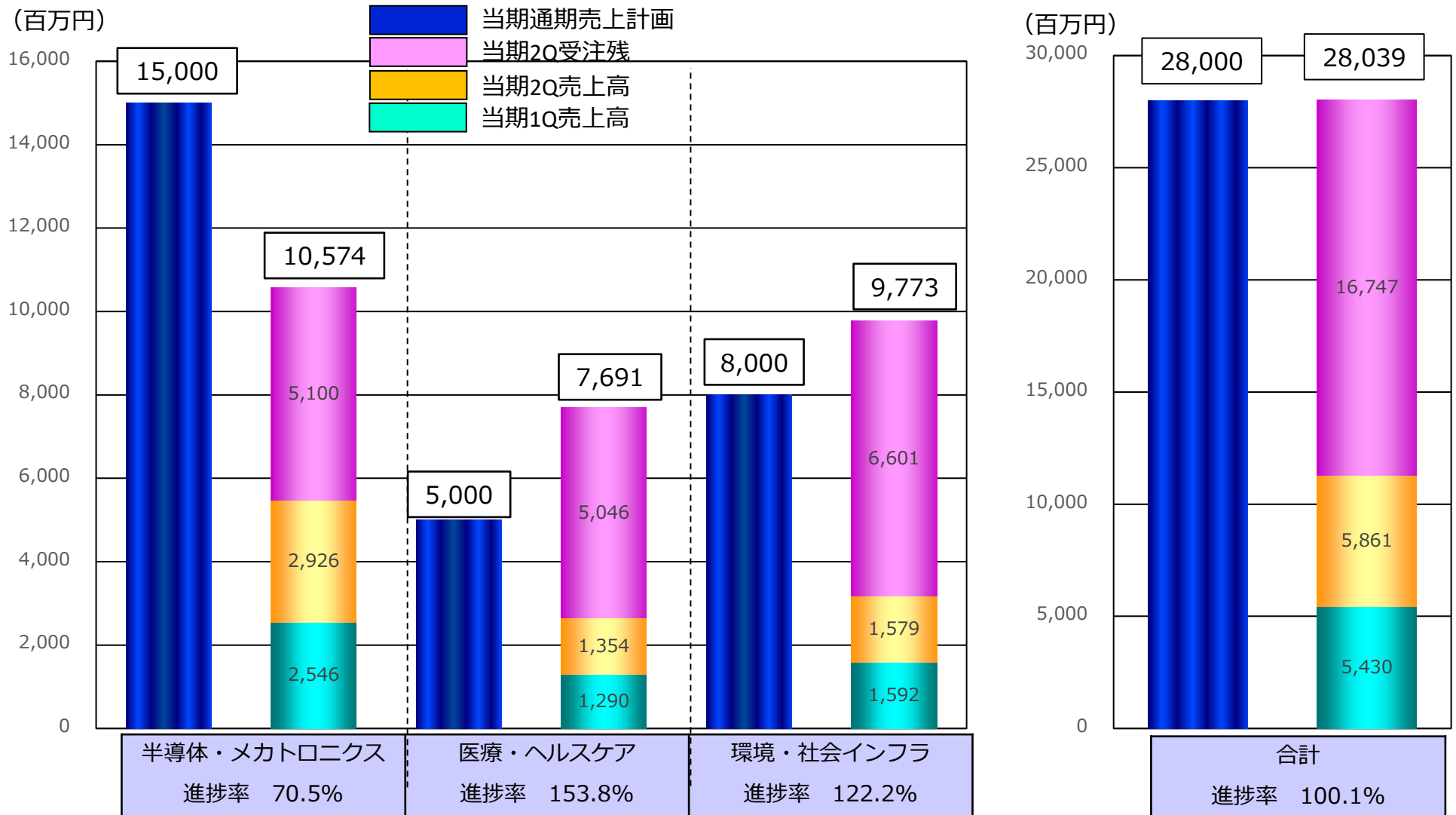
	2024年3月	2024年9月	増減額	備考
現預金	7,664	7,089	▲575	
売上債権	13,529	10,012	▲3,516	債権回収進む
棚卸資産	11,173	11,219	46	
その他流動資産	645	1,031	385	ライナス社への追加出資
固定資産	10,814	11,365	551	
資産合計	43,827	40,718	▲3,108	

<負債・純資産>

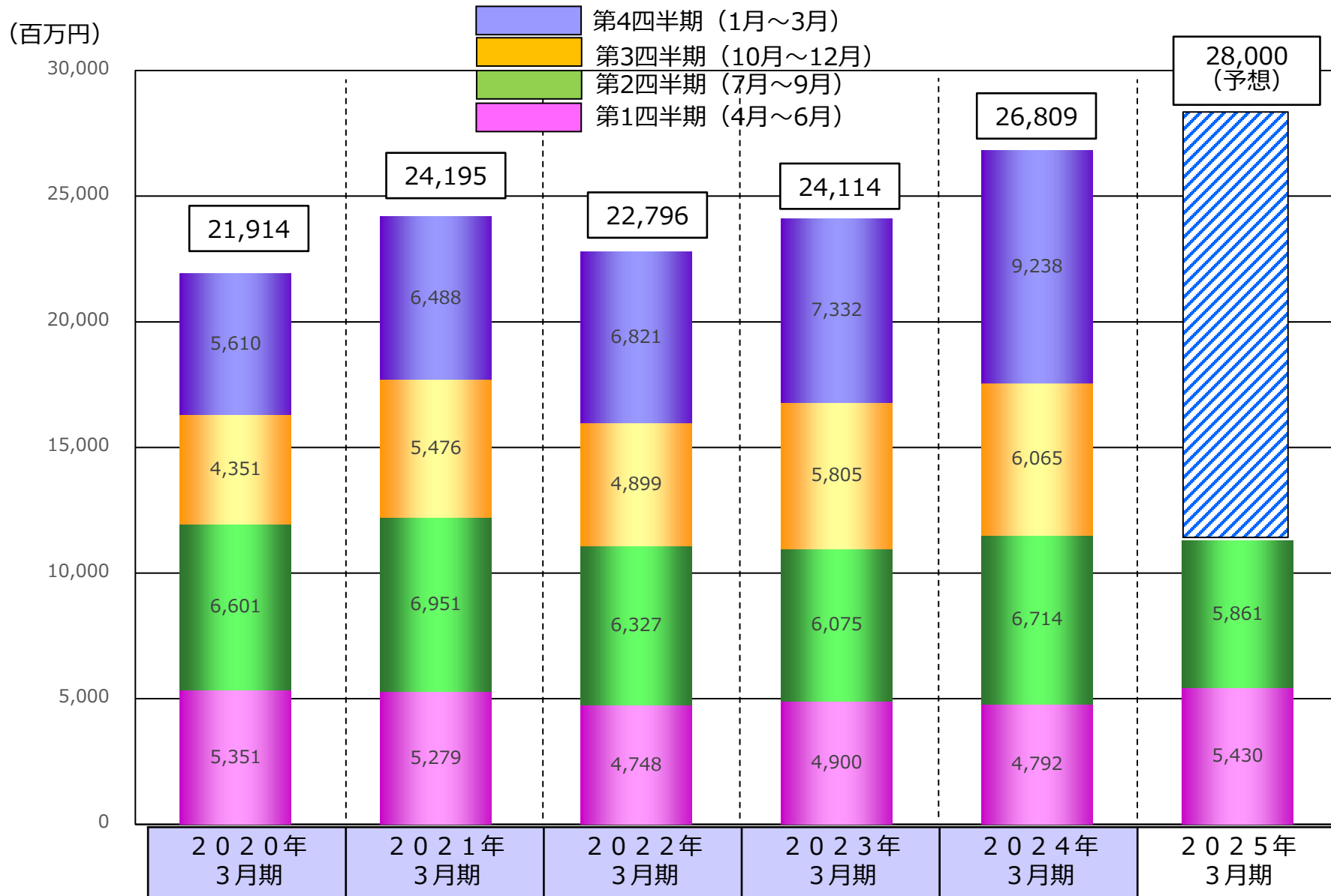
(単位：百万円)

	2024年3月	2024年9月	増減額	備考
仕入債務	5,265	3,793	▲1,472	
その他流動負債	10,399	10,263	▲136	
固定負債	11,171	9,930	▲1,240	長期借入金の減少
純資産	16,989	16,730	▲259	
負債・純資産合計	43,827	40,718	▲3,108	

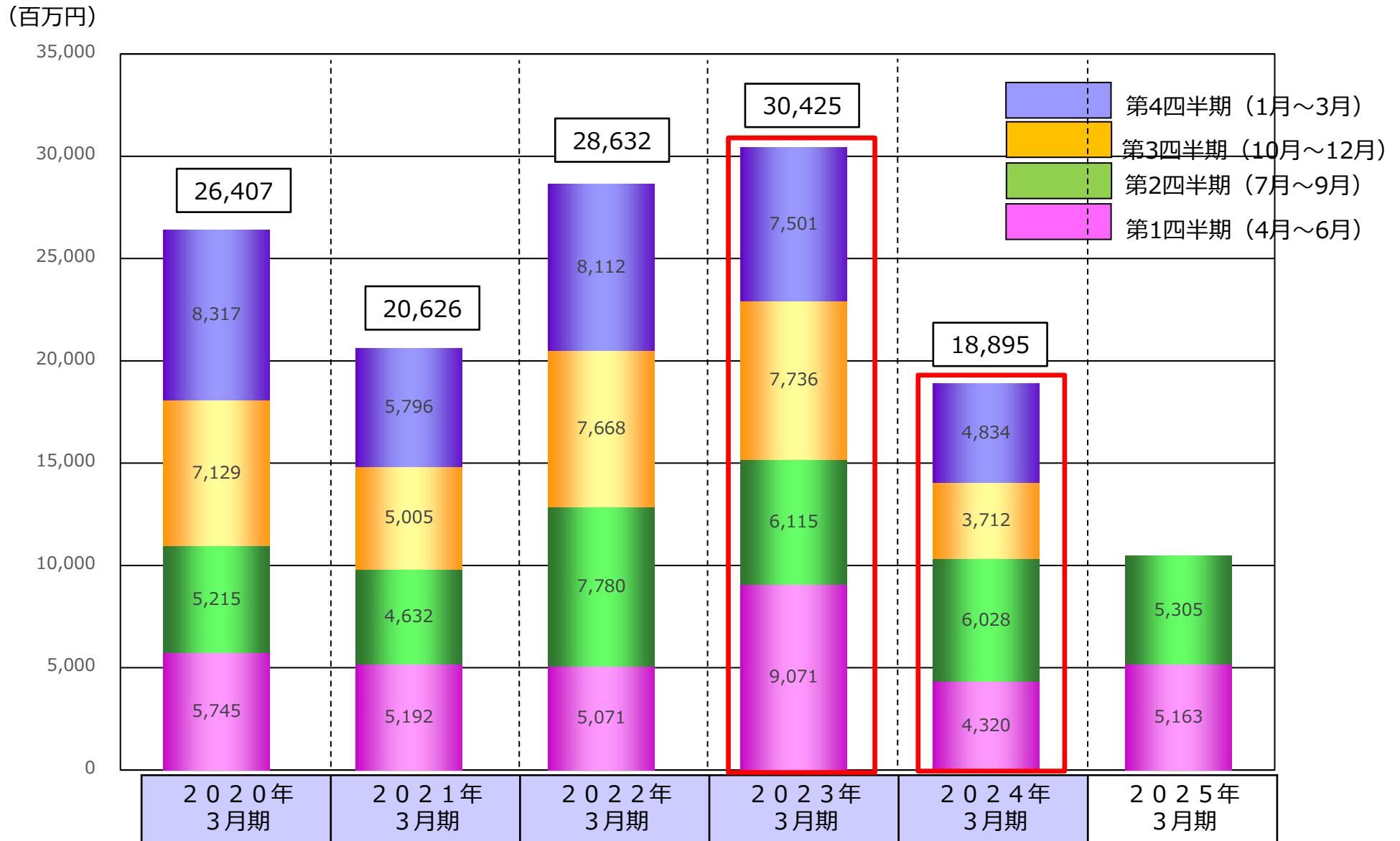
参考-6 25/3関連事業別売上計画の進捗状況



参考-7 2020/3～四半期別売上高推移



参考-8 2020/3~四半期別受注高推移



1. 2025年3月期 通期業績予想の修正 (2024年11月14日発表)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当り当期純利益
前回発表予想 (A)	32,000	3,200	3,000	2,000	217円63銭
今回修正予想 (B)	28,000	2,500	2,100	1,500	163円13銭
増減額 (B-A)	▲4,000	▲700	▲900	▲500	-
増減率 (%)	▲12.5%	▲21.9%	▲30.0%	▲25.0%	-
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	26,809	2,006	2,074	1,417	154円33銭

2. セグメント別売上予想

(百万円)

	半導体・メカトロニクス関連	医療・ヘルスケア関連	環境・社会インフラ関連	合計
前回発表予想 (A)	17,300	5,000	9,700	32,000
今回修正予想 (B)	15,000	5,000	8,000	28,000
増減額 (B-A)	▲2,300	0	▲1,700	▲4,000
増減率 (%)	▲13.3%	0.0%	▲17.5%	▲12.5%



さあ今日も、明るく、元氣よく
ときめきと感動の日々であれ！

しなやか先端技術企業集団
ワイエイシーグループ